

# かまた礼二の議会だより

第10号



2014年 1月 1日発行

発行者

塩竈市議会議員 鎌田礼二

〒985-0077 塩竈市梅の宮 1-26

・TEL & FAX 022-365-9626

・mail kamata02@c-marinet.ne.jp



## 飛躍の年でありますように

2014年、午年、新年を迎え皆様が飛躍した良い歳でありますよう心よりお祈り申し上げます。



平成25年12月定例議会 一般質問の後

昨年は、何かと忙しい歳でしたが何とか乗り越えることが出来ました。これはひとえに市民の皆様のお陰と感謝申し上げます。今後も初心を忘れることなく一生懸命頑張る所存でありますので宜しくお願い致します。

## ◎今後も議会で機会あるごとに質問

2007年の当選以来、一般質問(市政方針に対する質問を含め)も21回目となりました。市民一人ひとりの声をこういった機会を捉えて行政へ伝えて行きたいと思えます。

また、最近是一般質問の他に各委員会に付託される議案についての総括質疑も行っており積極的に取り組んでいます。

この一般質問や総括質疑では、市民の皆様を知って欲しいことを中心に、単なる質問ではなく提案型の質問を行うよう心掛けております。

## ◎東日本大震災復旧・復興調査特別委員会

昨年の3月に塩竈市のガレキ仮置き場等を一括管理していた「塩竈市災害復旧連絡協議会」について再三にわたり報道されました。このことにより平成25年5月13日に臨時議会を開催し、『東日本大震災復旧・復興調査特別委員会』が設置され、私は副委員長に選任されました。現在まで、9回開催され、真相究明に向けて審議中です。

この件については、次のページで問題点等について掲載しております。

## ◎『かまた礼二の議会報告会』を開催

毎年、秋に「かまた礼二の議会報告会」を開催しております。その際は衆議院議員の伊藤信太郎議員や元県議会議員の柏祐整さんにもお出でいただき一年間の活動の報告を行うとともに、ご支援いただいている皆様方との交流を深める場と捉えています。

## ◎議会運営委員長

昨年、9月定例会より議会の進め方等について調整等を行う議会運営委員会の委員長となりました。地味な仕事ではありますが、議会のスムーズな運営に努めて参ります。

また、現在塩竈市議会ではケーブルテレビ・マリネットとFMラジオ・ベイウェーブの議会中継を行っておりますが、より多くの市民に議会を知っていただく為にインターネット中継を考えております。議会運営委員会として行政視察を行い調査研究し、インターネット中継の実現を目指します。

## ◎ホームページ・ブログ・フェースブック

少しでも多くの市民の皆様のご意見をお寄せ下さい。ホームページ・ブログ・フェースブックを開設しております。

- ・ホームページ 『かまた礼二市議会議員』
- ・ブログ 『鎌田礼二の議員日記』
- ・フェースブック 『鎌田礼二』



平成25年12月の議会報告会

いずれも「鎌田礼二」で検索いただければ直ぐ  
にご覧いただけます。



### 一般質問及び市政方針に対する質問

#### ◎平成24年2月 市政方針に対する質問

- ①「復興整備計画」と「復興推進計画」について
- ②定住人口戦略プランについて
- ③子育て支援について ④市立病院について
- ⑤保健センターについて ⑥教育について
- ⑦住宅改修助成について
- ⑧BDF(バイオディーゼル燃料)について
- ⑨「シャッターオープン・プラス事業」と「商人塾」  
について
- ⑩仮設共同店舗の業績と成果について
- ⑪港湾について

#### ◎平成24年9月 一般質問

- ①市立病院について
  - ・上半期の収支予想について
  - ・今後の展開について
- ②新庁舎建設について
  - ・庁舎についての基本的な考え方について
  - ・新庁舎建設について
- ③生活保護について
  - ・生活保護の実態について
  - ・生活保護の財源について
  - ・支給者に対する就労支援等の対策について
  - ・貧困の連鎖を断つための取り組みについて
- ④教育について
  - ・塩竈市の児童生徒の学力について
  - ・学力向上対策の効果について

#### ◎平成24年12月 一般質問

- ①職員と臨時職員について
  - ・職員と臨時職員の実態は

- ・職員と臨時職員の報酬は
- ②生活保護について
    - ・本年度の見込みについて
    - ・就労支援等の対策について
    - ・医療扶助額の削減化について
  - ③国民健康保険税について
    - ・本年度の収支見込について
    - ・治療費の削減について
  - ④教育について
    - ・いじめの実態と対応について
    - ・学校給食について

#### ◎平成25年2月 市政方針に対する質問

- ①税収の落ち込みについて
- ②子ども・子育て支援事業計画について
- ③第2期健康しおがま21プランについて
- ④市立病院について
- ⑤水産加工品の生産出荷額の向上について
- ⑥天然の良港(塩釜港)について
- ⑦門前町としての魅力を活かす取組みについて
- ⑧確かな学力の育成について
- ⑨歴史遺産をみちの魅力として活用する取組み  
について
- ⑩冠水対策について
- ⑪魚市場の復旧・復興について
- ⑫浦戸の復興について

#### ◎平成25年9月 一般質問

- ①広域行政について
  - ・広域行政の現状について
  - ・一部事務組合の統合について
- ②国民健康保険税について
  - ・国民健康保険税の現状について
  - ・国民健康保険税の今後について
- ③豪雨対策について
  - ・市内雨水処理設備の整備状況について
  - ・今後の整備計画について
- ④災害時の相互応援について
  - ・災害時の相互応援規定について
- ⑤教育について
  - ・サマースクールについて
  - ・全国学力テストについて

#### ◎平成25年12月 一般質問

- ①来年度予算編成について

- ・編成の重点は
- ・中高齢者のスポーツ愛好者増加策について
- ・浦戸振興について
- ・芸術のまち塩竈について
- ・門前町としての取組みについて
- ・ゆるキャラについて

#### ②市立病院について

- ・今期の見通しについて

#### ③水道部の一部民間委託について

- ・一部民間委託後の状況について
- ・問題点は

#### ④教育について

- ・現在の教育委員会の進め方について
- ・全国学力テスト結果について
- ・今後の方向性について



平成25年11月 災害ボランティアの皆さんと

### 東松島市宮戸・寒風沢間架橋について

東松島市議会復興クラブさんより宮戸から寒風沢への架橋のお話があり、市民クラブでは実現に向けて活動しております。

これが実現できれば、浦戸の一早い復興と多大な効果があると思います。

- ・陸上からの物流が可能となる。
- ・観光客の増大が見込まれる。
- ・寒風沢から本土へ、本土から寒風沢へ通勤が可能となる。
- ・浅海漁業への就労の拡大。
- ・島民、特に若者の島内回帰へ結びつく。
- ・東松島との漁業協力の可能性が増大し、旧来からの協力関係が改善される。
- ・超高齢地域である寒風沢への救急医療体制が確立される。
- ・復興のスピードアップが期待される。

### 東日本第震災復旧・復興調査特別委員会

平成25年5月13日より9回開催され、その内2回は参考人を招致し開催している。回数を重ねる中、問題点が絞られてきており何とか今年度中に特別委員会としての結論を出したいと思います。

私は、以下の事項が特に重要な問題点だと考えています。

#### 塩竈市に管理責任があるのでは

塩竈市は、被災家屋解体除去や災害廃棄物仮置場の管理等を塩竈市災害復旧連絡協議会に委託をしているが、きちんとした管理を行っていない。これは建設業法上、工事の丸投げ(工事を請け負い業者が、施工に於いて実施的に関与を行わず、下請けにその工事の全部又は独立した一部を請け負わせること。)であると考えられる。

この他に「連絡協議会内での仕事配分のかたより」、「有価物の紛失」、「島民給与」、「危険家屋解体」等の問題も塩竈市の管理責任があるのではと思います。

#### 有価物（鉄・アルミ・銅等）について

昨年の平成24年11月開催の産業建設常任委員協議会で公明党の嶺岸淳一元議長が発言した“有価物の横流しをしている業者がいる。現場を見た。”との発言は、9月20日開催の特別委員会で、参考人の発言や当局との確認で、嘘の発言であることが分かった。

また、家屋等を解体した場合、鉄やアルミなどは分別して越の浦仮置場に運んだと参考人である業者が述べているが、仮置場からリサイクル業者へは混合スクラップとして出している。鉄やアルミ等に分別されているものを混ぜ合わせて混合スクラップとしたのは不合理である。

最終的に処理したリサイクル業者からの有価物の仕切書にはアルミとか銅は全く出て来ない。このことは、“解体業者から仮置場へ、それから仮置場からスクラップ業者への間で銅とかアルミ等の有価物が抜き取れた”のではとも考えられる。

#### 災害復旧連絡協議会の島民給与に関して

浦戸諸島災害廃棄物仮置場管理業務に係る島民の方の稼働日数が毎月毎日大きな変化がない。雨の日は休んでいたとの島民の話もあり、疑問が残る。

浦戸諸島災害廃棄物仮置場管理業務を依頼された東北重機(株)、東華建設(株)の下請け2社が作業員を雇用し給与を支払うのが一般的だが、元請けである連絡協議会が半数以上の作業員を雇い作業していた。

### 浦戸危険家屋解体に関して

資料請求した野々島6件について検証すると、家屋調査を基にした床面積と実際に作業した床面積に大きな差が生じており、更に土地、建物の登記面積と比較しても大きな差異が生じている。(1件の家の解体に3~4件分をくっつけ、メインの家屋の床面積の3倍4倍になるような解体面積で書類を作成している。)

解体申請に必要な書類が揃わない為、周辺にある物件と一緒に解体したとの市当局の回答だが、隣ではなく離れた別の島が含まれている。

### 特別委員会委員に関して

- ①今回の特別委員会で公明党(嶺岸淳一・浅野敏江・小野幸男)、自由民主の会(香取嗣雄・阿部かほる・西村勝男)の質問が少ない。特に嶺岸議員・小野議員・香取議員と西村議員に関しては、1度も質問をしていない。
- ②参考人招致に関して自由民主の会全員・公明党全員・さいせい(田中徳寿)は反対であった。
- ③平成25年5月12日に開催された議会報告会で、公明党の嶺岸淳一元議長は、“災害復旧連絡協議会の設立を議会としてお願いした”との発言があったが、第3回目と第6回目の特別委員会で市当局と参考人の回答から嘘の発言であることが分かった。
- ④公明党の嶺岸淳一元議長の平成24年11月開催の産業建設常任委員協議会での発言が嘘であることが判明した為、11月27日の特別委員会に参考人として招致したが欠席した。また、その後の特別委員会にも欠席している。

この特別委員会の開催は、ある日突然決めるものではなくある程度前に決めているにも関わらず欠席しており、また

発言の内容が広範囲に亘ることから、何処が本当のことで何処が嘘なのかは分からない状態である。発言の内容が重要なことから今後も追及する必要がある。

- ⑤連絡協議会の総会資料によると“西村先生(西村勝男市議会議員)が来て、元・和田協議会会長から依頼されて来た”とあり、特別委員会を開催し調査中でもある中、特別委員会の委員である議員が調整をしようとしたことは委員としてあるまじき行為であり問題である。

### 新生クラブを離脱し市民クラブを立ち上げる

平成25年12月25日に今まで所属した「新生クラブ(佐藤英治会長)」より5名(伊藤栄一、菊地進、志賀勝利、志子田吉晃、鎌田礼二)が離脱し「市民クラブ」を立ち上げました。

- ・平成24年9月 改選後「新生クラブを開設」  
佐藤英治(会長)、伊藤栄一、菊地進、志子田吉晃、鎌田礼二
- ・平成25年6月 新生クラブに志賀勝利氏が入会
- ・平成25年9月 新生クラブより佐藤議長を選出
- ・平成25年12月新生クラブを離脱し市民クラブ  
新生クラブで佐藤英治議長を選出したことは私達の大きな誤りであった。今後は、私達の蒔いた種でもあり、私達の責任で刈り取らなければならないと私は考えております。

今後、市民の皆様の為、会派一丸となり一生懸命頑張っていきたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願い致します。



菊地幹事長 鎌田会長 志子田副幹事長兼会計  
伊藤顧問 志賀副会長